

東区を知る本（トピック編）

◎大美野田園都市

大美野田園都市は関西土地株式会社によって計画され、昭和6年から工事が始まりました。噴水の広場を中心に8本の放射道路を設けたデザインは、欧州各国の視察を行った下村喜三郎によるものです。中央図書館では、売り出された当時のパンフレットや絵葉書を貴重資料として保存しています。

「大阪堺市に出現した環状放射の街区をもつ大美野田園都市」和田康由

『堺研究 第35号』（堺市立中央図書館 2013）所収

「大美野田園都市／堺」和田康由

『近代日本の郊外住宅地』（片木 篤／編 鹿島出版会 2000）所収

「大美野田園都市」「阪和上野芝住宅地」

『水都の風景と記憶』（大阪近代建築ガイド編集委員会／編集・執筆

日本建築家協会近畿支部 2004）所収

【参考】『雪の鉄樹』遠田 潤子／著 光文社 2016

「本の雑誌が選ぶ2016年度文庫ベストテン」第1位となった本作は大美野が舞台です

◎野田城

野田城は南北朝時代、楠木正成に仕えた野田正勝が築いたとされている城です。南海高野線北野田駅の南一番線路脇に「野田城址」の標柱が建っています。

『河内国野田城の歴史』野田校区まちづくり協議会 2013

『穂出籬山（ほでがきやま）と野田城』小谷敏一 2003

『堺市文化財調査概要報告 第36冊』堺市教育委員会 1993



◎織田作之助

大阪を代表する無頼派の作家、織田作之助は代表作『夫婦善哉』を北野田の自宅で執筆しました。『高野線』は滝谷不動まで乗り過ごした織田が、亡くしたばかりの妻を回想しながら線路沿いを北野田まで歩いて戻る哀切な自伝的短編です。

「天衣無縫！織田作之助」ブックリストへ →



◎文化村、倉橋仙太郎

大正6年に新国劇を創立した一人である倉橋仙太郎は、病を得て療養のため西野に移り住みます。その西野で「新文化村」を設立し、民衆大学や民衆劇学校を開きました。映画スターの大河内傳次郎はこの学校の研究生でした。

「倉橋仙太郎と新文化村」北崎豊二

『堺研究 第22号』（堺市立中央図書館 1991）所収

「西野に描いた大正の夢～倉橋仙太郎と新文化村」井村身恒

『フォーラム堺学 第6集』（堺都市政策研究所 2000）所収

『幕のうちそと 故倉橋仙太郎の思い出集〔複写版〕』平野 寿美子／編 倉橋道三 1967

「仙人仙太郎の過ごした場所」藤本貴司

『わかくす』（わかくす文芸研究会）通巻78号(2020)、80号(2021)、82号(2022)所収

◎西高野街道、伊勢道

堺・大小路から高野山へ向かう西高野街道、和泉から河内を横断して伊勢詣に使う伊勢道は東区を通る歴史的に重要な宗教・商業の道です。

『西高野街道の里道標石をたずねて〔複写版〕』歩こう会編集委員／編集

橋本市観光協会 2012

『西高野街道ウォーキング徹底ガイド』西高野街道観光キャンペーン協議会 2009

『西高野街道に遊ぶ』横山 豊／著 新葉館出版 2009

『河内の古道 高野への道』尾田 年弘／文・写真・地図 「河内狭山」発行所 2011

『伊勢道郷土史の人々』小谷敏一 2001



◎狭山池、西除川（にしよけがわ）

狭山池は飛鳥時代にできた日本最古のダム式のため池です。余分な水を流す「洪水吐（こうずいばき）」を狭山池では「除」と呼び、西除川の名前はこれに由来します。西除川を使って配られた水は周辺地域の田畑をうるおしました。

『歴史のなかの狭山池』市川 秀之／著 清文堂 2009

『光と風の大地をうるおす 狭山池土地改良区50年のあゆみ』狭山池土地改良区 2001

『絵図に描かれた狭山池』大阪狭山市教育委員会 1992

『大阪府立狭山池博物館常設展示案内』大阪府立狭山池博物館 2001